

## 第7回南海地震四国地域学術シンポジウム論文募集

昨年(2011年)の3月11日午後2時46分に発生した千年に一度ともいわれる地震は、巨大津波により1万9千人近い犠牲者と福島第一原子力発電所で炉心溶融事故を起こすなど、日本に多大な被害をもたらした。東日本大震災の発生を受けて、政府は南海トラフ巨大地震の規模や被害の見直しを行い、8月末には詳細な検討結果を発表しました。ここで示された内容は、今までの想定をはるかに凌ぐものです。

四国でも想像を絶する津波が襲来するとともに、震度7という強震動にも見舞われることも想定内にはしなければなりません。このような大規模災害に備えて、「減災」のための研究を行っていくのは、土木に携わる者の責務と言えます。

今回、土木学会四国支部四国ブロック南海地震研究委員会では、第7回南海地震四国地域学術シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、東日本大震災の被害調査の解析、南海トラフ巨大地震の規模や被害の新たな想定を受けて、四国の各行政機関の東南海・南海地震対応への取り組みの紹介、それと各研究機関が有している巨大地震災害に関する学術・技術研究の現状と課題などについて検討します。多数の方の論文発表をお願いします。

### 記

主 催：公益社団法人土木学会四国支部 四国ブロック南海地震研究委員会

共 催：国土交通省四国地方整備局

後 援：四国4大学防災関連研究センター連携協議会、徳島大学環境防災研究センター、香川大学危機管理研究センター、愛媛大学防災情報研究センター、高知大学総合研究センター(防災部門)

日 時：平成25年1月24日(木) 10:00~17:00(予定)

場 所：香川県高松市サンポート2番1号 サンポートホール高松6階 61会議室

論文発表申し込み：

論文題目、著者名、所属、連絡先(住所とe-mailアドレス)、概要(100字程度)を明記の上、[yatabe@cee.ehime-u.ac.jp](mailto:yatabe@cee.ehime-u.ac.jp)まで申し込んでください。発表のお申込受付後に、原稿執筆のご依頼をさせていただきます。

発表申込、論文投稿、最終原稿提出等の締切日はそれぞれ下記の通りです。論文原稿はA4サイズ、8頁以内の複数ページを原則といたします。詳しい執筆要領は以下のアドレス<http://www.jsce7.jp/>よりダウンロードしてください。なお、論文の査読は査読者2名により実施いたします。査読者からの修正意見に基づいて修正していただいた最終原稿を1月7日(月)までにご提出いただきます。

発表申込の締切 11月14日(水)

一次原稿の締切 11月30日(金)

査読結果の通知 12月10日(月)

最終原稿提出締切 1月7日(月)